



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
新型コロナウイルス
感染対策について



Q 新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、高齢者の接種率が非常に高まってきた影響を反映しているのか、最近の傾向として若い方の感染者が増えている。幅広い検査の重要性が高まっていると考えられる。6月定例会の一般質問でも検査の拡大を要求したように、無料のPCR等の検査の対象者を、65歳以上等といった現在の対象者以外にも拡大することが必要であると思うが、どのように考えるか伺いたい。

A 健康医療部長

現在の感染状況を見ると、重症化するリスクは高齢者等に限られていないので、今後、検査対象者や回数制限を見直し、ていく必要があると考えています。



種原 政夫 議員(政友みらい)
通学路の安全対策
について



Q 児童たちの登下校時の事故が全国で後を絶たない。児童生徒の通学路の安全対策について、どのようなことを行ったのか、実績を伺いたい。

A 市長

通学路の安全対策は、佐野市通学路安全対策連絡協議会の組織を生かし、学校、地域、関係機関等が連携し取り組んでいます。

令和2年度末の段階で、交通安全に関する危険箇所が各学校から295か所提出され、全て合同点検を行い、横断歩道の設置、カラー舗装、路面標示等の対策を204か所に実施しました。本年度も、年度当初5月末までに各学校において通学路安全点検を行いました。さらに、千葉県八街市の交通事故を受け、改めて通学路点検を各学校で行い、7月末

その他の質問

☆実家の農業を継ぐ「親元就農者」の支援について
☆街路樹について
☆山地に設置している太陽光発電設備について

と8月に合同点検を実施しました。現在実施可能な対策から進めています。



小暮 博志 議員(政友みらい)
新型コロナウイルス
感染拡大への対応
について



Q 12歳以上65歳未満の方のワクチン接種率が、現在の65歳以上の接種率くらいになるのはいつ頃になると考えているか伺いたい。

A 市長

今後、希望される方にワクチン接種を積極的に受けていただけるよう、イオンタウン佐野にモデルナ社ワクチン接種会場を新設し、9月末から1か月に8,800回のワクチン接種の実施を予定しています。また、若年層が受けやすいように、夜間や接種日を増やすなど接種体制を整えていきます。そして、ワクチン接種を希望される方については、11月末までに終了できるように、佐野市医師会、佐野歯科医師会、佐野市薬剤師会のご協力をいただき、ワクチン接種を進めていきます。

その他の質問

☆人口減少の中での経済の状況について

